



～生徒を主語にした教育活動の推進⇒SEISHO PRIDEの実現～

学校教育目標	SEISHO PRIDE
つながり ～生徒の 可能性 を最大限に引き出す学校づくり～	
自立 貢献 創造	さわやかな挨拶 ・ 自ら進んで学習 活力ある生徒会活動 ・ いじめの根絶 響き合う合唱 ・ 成長し合える仲間



<主な重点取組事項>

<重点1 学力・体力の向上>

- ①「主体性を高め、活用する力を高める」授業改善の推進
- ②個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた1人1台端末の日常的な活用
- ③運動の楽しさを実感する体育的行事の推進

<重点2 豊かな心の育成>

- ④「ほっと」を活用した学級・学年経営の改善
- ⑤SOS の出し方に関する教育」を含めた自殺予防教育といじめ対応ガイドブック・支援ツール「コンパス」に基づいた取組の推進

<重点3 生活習慣の確立>

- ⑥SNS 利用に係る情報モラル教育の推進
- ⑦「苫小牧市情報機器利用の約束」を踏まえた望ましい電子メディアの利活用に向けた啓発活動

<重点4 地域との連携・協働>

- ⑧教育課程の改善充実を目指した学校運営協議会（コミスク）の推進
- ⑨生徒の共助の精神や社会参画意識を育む地域貢献活動の推進

生徒の実態

- 〇明るく元気なあいさつが定着し、さわやかな校風が確立されている。
- 〇基礎的・基本的な学習事項がしっかりと定着している。活用発揮することを通して問題を発見し、解決していく力の育成が求められる。
- 〇教師との信頼関係を基盤として諸活動を通して、自尊感情が育まれている。部活動への取組も積極的で、各種目において上位入賞を果たしている。
- ▲様々な要素が複合した“居づらさ”を乗り越えていくことに困難を感じている生徒に対しての個に応じた支援が必要である。